



古河市合併10周年



こが  
古河

広  
報

No.115

4

APRIL  
2015

平成27年度  
施政方針

# 未来を見据えた まちづくりのスタート

平成27年2月19日から第1回市議会定例会が開かれ、菅谷憲一郎市長が平成27年度の市政運営の基本姿勢を示す「施政方針」を述べました。ここでは、市長が示す基本方針と主な事業の内容を要約して紹介します。

なお、施政方針の全文は、市公式ホームページに掲載しています。

## はじめに

私は古河市長に就任して以来、行政の基本である「市民が主役のまちづくり」を実現するために職員とともに全力で市政の運営に取り組んでまいりました。

今年は、合併10周年の節目の年となります。市民ならびに議会のみなさまとともに、持てる力や知恵を結集し、古河市のさらなる

飛躍・発展を目指して未来を見据えたまちづくりのスタートを切りたいと思います。

今後の10年は、少子高齢化や地方創生などまちの存立を賭けた、重要課題に取り組まなくてはなりません。より一層の決意と情熱を持って市政運営に全力でまい進してまいります。



## 市政運営の基本方針

わが国が直面する地方創生・人口減少克服という構造的課題に正面から取り組むために、内閣官房に「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が示されました。

古河市においても、国の戦略を受けて、人口減少・超高齢化社会への対応および古河市の特徴を活かした自律的で持続的な社会の創生への取り組みを推進するため「古河市まち・ひと・しごと創生本部」を設置いたしました。

地方創生を実現するためには、地域経済の活性化に加え、若者が地方で働きながら古河市に住み、子どもを産み育てる環境を整える等の少子化対策の視点も重要であると考えております。

今後、国の策定した「長期ビジョン」と「総合戦略」を勘案しつつ、古河市における人口の現状を分析し、将来展望を示す「人口ビジョン」と、それを基に、今後5カ年の目標や施策の基本的方向性を示す「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたします。

ますます多様化、高度化する市民ニーズを効率的に対応するためには、きめ細かく迅速で柔軟な事業実施が必要であり、厳しい財政状況の中で高いコストパフォーマンスを発揮することが必須条件であります。加えて、市全体として公共施設等の維持管理・更新等を着実に推進していくため「公共施設等総合管理計画」を策定し、中長期的な取り組みの方向性を示していくとともに、マネジメント体制を構築してまいります。

平成27年度の予算編成においては、地方財政制度を有効に活用するとともに、厳しい財政事情について全職員が認識を共有し、臨機応変に事業を再構築するなど、これまでに増して創意工夫を凝らした予算編成となっております。

組織体制につきましては、事務分掌を一部改正し、組織のスリム化と効率化を図ります。企画部を市長公室に名称変更し、喫緊の重要課題等に対し迅速、かつ的確に対応してまいります。



# 主 な 事 業

## 教育文化

### ●古河塾による学習環境の提供

全小中学校で、通塾していない児童生徒を対象に放課後学習支援の場を提供します(小学校1時間、中学校1時間30分)。各校に2人のサポーターを配置し、児童生徒がタブレットを活用してネット配信された問題を使用して学習することを支援します。



◀基礎学力の向上と学習習慣の定着化をめざします

### ●小学校のICT活用の推進

学力向上を目的にICT機器(タブレット端末、大型ディスプレイ、実物投影機)を配置し、デジタル教科書等の教育用ソフトや投影機等を活用した授業を展開します。

### ●チーム・ティーチングによる授業の充実

児童生徒一人ひとりの個人差や習熟度に応じた、きめ細かな指導を行います。大規模校に教育活動指導員を増員し、学校規模に応じた指導体制をとります。

### ●学習環境等の向上

空調設備の設置、トイレの洋式化改修工事、校庭のスプリンクラーの設置など、学習環境の向上を図ります。

### ●古河勤労青少年ホーム代替施設の建設

平成28年度の完成を目指して、老朽化した青少年ホームを解体し、新たに代替施設を建設します。平成27年度は解体工事、代替施設の基本・実施設計および新築工事を実施します。

### ●(仮称)三和地域交流センターの建設

平成29年度の完成を目指して、老朽化した三和公民館を解体し、新たに(仮称)三和地域交流センターを建設します。平成27年度は解体工事、基本・実施設計を実施します。

## 福祉健康

### ●古河市子ども・子育て支援財団への支援

子育て支援施策のさらなる充実を図ることを目的とした「一般財団法人古河市子ども・子育て支援財団」の活動に対して支援を行います。



▲3月13日に開催された財団設立総会

### ●小児用インフルエンザ予防接種の助成

子育て支援と肺炎等の重症化を予防するため、生後6カ月から18歳を対象に、インフルエンザワクチン接種料の一部を助成(1,000円/1回)します。

### ●子育て支援の拠点構想の策定

古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」として位置づけ、老朽化した上辺見保育所の移転を含めた今後の施設整備の基本構想を策定します。

### ●20歳までの医療費助成の拡大

県の医療福祉費支給制度(マル福)対象外の乳児から18歳までの人に対し、市独自の医療費助成制度(マル古)で医療費の一部助成を継続実施します。平成27年度は6月1日から新たに20歳までの学生に限り、医療費の一部助成を拡大(所得制限あり)し、子育てにかかる経済的負担の軽減を図ります。

## 生活環境

### ●防犯カメラの設置

3カ年で防犯カメラ100基を整備します。平成27年度は小中学校の通学路を中心に防犯カメラ40基を新たに設置し、防犯カメラを利用した適切な犯罪防止対策を行い、市民の安全で安心な生活の確保を図ります。

### ●市内幹線道路の環境美化

市内の幹線道路の交差点を中心に、定期的な清掃活動を行い、ごみを捨てにくい環境づくりを進めます。

### ●古河市斎場の環境整備

斎場利用者の増加に対応するため、斎場南側駐車場を拡張するとともに、緩衝緑地帯を設け、施設周辺の生活環境に配慮した施設とします。平成27年度は用地取得を行います。

### ●防災行政無線の整備

大雨・洪水・暴風などの災害時に周辺住民に対して防災や避難に関する情報を伝達するため、昨年度に引き続き、河川沿岸の公共施設にデジタル防災行政無線(屋外拡声子局)の設置等を行います。また、市役所三和庁舎にある親局のデジタル化工事を行います。

## コミュニティ・行政

### ●合併10周年記念特別事業

記念式典、プレミアム商品券の発行など、合併10周年を記念する事業を実施します。  
※詳しくは6～7ページをご覧ください。

### ●古河青年企画提案活動への助成

青年の柔軟な発想による地域の活性化につながる活動に対して支援を行い、活力あるまちづくりを推進します。



▲若者の力で古河を元気に

## 産業労働

### ●企業誘致等に伴う若者・子育て世帯の定住促進

企業誘致等に伴う若者・子育て世帯の転入者に対し、奨励金を交付します。



◀定住化を促進し、活力あるまちづくりを推進します

### ●市内空き店舗の活用

市内における商店街等の区域内の空き店舗を活用し、魅力ある店舗の出店(改造費補助・賃借料補助)や集客力向上のためのイベント事業に助成し、商店街等の活性化を図ります。

### ●商工業団体への支援

市内商工業振興のための事業を実施する団体や、参加者・店舗・主催者が一体となり商業振興や定住化・少子化対策、地域振興を目的とするイベント「古河コン」の開催に対し補助金を交付します。

### ●銘柄産地育成への支援

農協・生産者団体と協力しながら、産地のPRや銘柄農産物の加工による高付加価値化に向けての取り組みを支援します。



▲銘柄産地指定を受けている5品(左から、カボチャ、バラ、ニンジン、サニーレタス、ニガウリ)

## 都市基盤

### ●道路環境の整備

生活道路の舗装や道路構造物の整備・維持管理、未改良の生活道路等の整備を行い、地域住民の利便性と安全性の向上を図ります。

# 古河市は 合併10周年を迎えます



古河市は、平成17年9月12日に古河市・総和町・三和町の1市2町が合併し、「新」古河市として平成27年9月12日に10周年を迎えます。

そこで、節目となる平成27年度を合併10周年期間として市全体でお祝いし、さまざまな事業を推進して市内外に広く合併10周年をアピールします。これまでの10年間で育まれた地域の絆や結束力を糧に、さらなる飛躍・発展を目指し、未来を見据えたまちづくりがスタートします。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111



## 合併10周年記念特別事業を実施します

合併10周年を記念して、記念式典やプレミアム商品券の発行など、さまざまな特別事業を実施します。事業内容は2月18日に発足した「古河市合併10周年記念事業実行委員会」で審議されました。主な事業は下表のとおりです。



No.	事業名	事業内容
1	合併10周年記念式典	開催期日：10月2日(金) 開催場所：中央運動公園総合体育館
2	市の鳥・市の魚制定	市のイメージアップを図るとともに、市民が長く愛着を持ち、市のシンボルとなる「市の鳥」「市の魚」を募集し制定します
3	古河総合公園 施設愛称募集	市民からより親しまれる施設となるよう、市内施設の愛称を募集し制定します
4	中央運動公園総合体育館 施設愛称募集	
5	スーパープレミアム商品券発行	国の交付金を利用し、地域活性化のためにプレミアム率を付加した商品券を発行し販売します
6	市勢要覧発行	発行時期：7月 発行部数：2,000部
7	市民便利帳発行	発行時期：5月(予定) 発行部数：72,000部
8	原動機付自転車オリジナルナンバープレート作成・交付	50cc以下の原動機付自転車用「オリジナルナンバープレート(ご当地ナンバー)」を作成し、10月から交付します
9	未来の古河展	小学生から未来の古河についての作文・絵画を募集します



## 「冠事業」で記念の年を盛り上げます

冠事業とは、市が主催または共催で実施している既存事業を「古河市合併10周年記念〇〇〇大会」のように、大会名称の前などにつけて、記念の年を盛り上げ、市のPRに役立てるものです。このほか各種団体からも冠事業を募集し、市全体で合併10周年を盛り上げていきます。





## 合併10周年記念キャラクター・ロゴが決定

2月18日に開催された実行委員会で審議され、記念キャラクターと記念ロゴが決定しました。今後、さまざまな形で活用していきます。皆さん、ご期待ください。



じゅおうまる

記念キャラクターは、古河市出身のアニメーター・浅野恭司さんあさの きょうじが古河公方「足利成氏あしかがしげうじ(幼名：万寿王丸)」の11歳ごろをイメージして描いたもの。昨年行われた「第2回浅野恭司原画展」において市に寄贈していただきました。

古河市は「足利成氏」が1455年にこの地を拠点として以降、約130年間にわたり関東の政治・文化の中心となったことから、合併10周年を機に古河市がさらに発展し、今後も選ばれるまち・誇れるまちとして歩めるよう、この「万寿王丸」が記念キャラクターとして採用されました。



▲成氏の元気な男の子時代をデザイン



記念ロゴは、合併10周年を機にさらなる市民の一体感を醸成できるよう円を基本に、市章の基本色である「赤」「緑」「青」を使用しています。

また、多くの人から親しまれるよう、ロゴの中心に記念キャラクターである「万寿王丸」や「市の花」であるハナモモを描いたデザインとしました。



▲市職員の名札やイベントで使うのぼりに活用し、市のPRを行います

### キャラクターデザインを手がけた浅野恭司さんからメッセージ

古河市出身でアニメ「サイコパス」「進撃の巨人」などを手がけるアニメーターの浅野恭司さん。「合併10周年に関わることができて嬉しく思います。この万寿王丸は、成氏の元気な幼少期を描きました。古河市も今年で10歳。この子と同世代です。皆さんが『歴史のあるまち古河』を身近に感じて、ふるさとを思うきっかけになってほしいですね」とメッセージをいただきました。



▲昨年9月27日に行われた「第2回浅野恭司原画展」でデザイン画を披露する浅野氏

# 古河市の組織機構（市役所の課・室）が一部変更になりました



市では、4月1日から組織機構の一部を変更しました。課・室の統合による組織のスリム化と、重点事業に対応する各部署の設置などにより、さらなる市民サービスの向上や市への定住促進など、地方創生を推進していきます。

【問】企画課 行政改革推進室(総和庁舎)  
☎92-3111

## ～主な改正のポイント～

### 「企画部」から『市長公室』へ

「企画部」を『市長公室』に名称変更します。喫緊の重要課題に対して、迅速かつ的確に対応します。

### 『企業誘致・定住促進室』の設置

企業の進出等に伴い、古河市への従業員等の定住を促進するため、商工政策課内の「企業誘致推進室」を『企業誘致・定住促進室』に改めます。

新たに定住相談窓口として、古河市「若者・子育て世帯」定住促進サポートセンターを設置します。

### 『児童発達支援センター』の設置

「古河市児童発達支援事業所」を『古河市児童発達支援センターぐるんぱ』に変更し、健康づくり課に設置します。児童発達支援の充実・強化を図ります。

### 『茨城国体推進室』の設置

スポーツ振興課に『茨城国体推進室』を新設します。2019年に開催される茨城国体での競技実施に向けた取り組みを推進します。

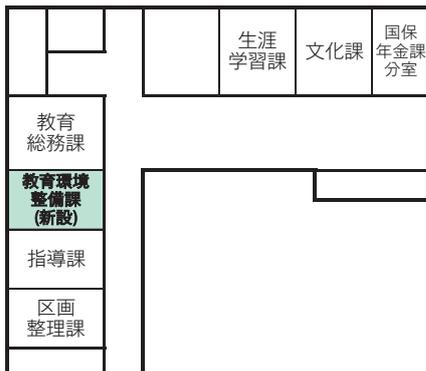
### 『教育環境整備課』の設置

教育委員会に『教育環境整備課』を新設します。小中学校のエアコン等の空調設備を整えとともに、パソコンやタブレット端末などのICT(情報通信技術)を積極的に活用し、学校教育の充実を図ります。

## ～組織機構の見直し(新旧対照表)～

※組織編成(再編、統合、所属)や名称に変更があった部署のみ掲載しています。

旧体制(平成27年3月31日まで)		➡	新体制(平成27年4月1日から)		
部	課・室		部	課・室	庁舎等場所
企画部	企画課		市長公室	秘書広報課	総和庁舎3階
	企画課 行政改革推進室			企画課	総和庁舎2階
	秘書広報課			企画課 行政改革推進室	
	情報統計課			情報統計課	総和第3庁舎
市民サービス部	市民サービス課		市民サービス部	市民サービス課 (市民相談センターを統合)	総和第2庁舎2階
	市民サービス課 市民相談センター				
文化スポーツ部	スポーツ振興課		文化スポーツ部	スポーツ振興課 茨城国体推進室(新設)	中央運動公園 総合体育館
健康福祉部	高齢福祉課		健康福祉部	高齢福祉課	総和福祉センター「健康の駅」1階
	地域包括支援センター			高齢福祉課 地域包括支援センター (高齢福祉課課内室へ変更)	
	健康づくり課			健康づくり課 健康づくり課 児童発達支援センター	古河福祉の森 会館
子ども部	子育て対策課		子ども部	子育て対策課 (子ども政策室を統合)	総和第2庁舎2階
	子育て対策課 子ども政策室				
産業部	商工政策課 企業誘致推進室		産業部	商工政策課 企業誘致・定住促進室	総和第2庁舎3階
	観光交流課			観光物産課	
	農政課			農政課 (農業活性化推進室を統合)	三和庁舎2階
	農政課 農業活性化推進室				
建設部	用地管理課		建設部	用地管理課 (地籍調査室を統合)	三和庁舎1階
	用地管理課 地籍調査室				
教育委員会 教育部	教育総務課		教育委員会 教育部	教育総務課 (学校給食保健課から保健係を編入)	古河庁舎2階
	学校給食保健課			教育環境整備課(新設)	
				学校給食課	学校給食センター



## ～古河庁舎2階の配置変更～

左図のとおり、古河庁舎2階の配置が変わります。なお、学校給食課は、学校給食センター(関戸)へ移動しました。





# 4月から拡大しました 公共施設の相互利用が

## 関東どまんなかサミット会議

1月28日、「関東どまんなかサミット会議」を構成する埼玉県加須市、栃木県野木町、群馬県板倉町の首長が「公の施設の相互利用に関する協定書」に調印したことは「広報古河3月号」でお知らせしました。その後、各自治体の関係条例等を改正し、4月1日から新たに板倉町の施設も同住民と同一料金で利用できるようになりました。

文化・スポーツなどの公共施設を相互に効率的に利用して、関東4県の県境に位置する隣接自治体の住民相互のコミュニケーションを深め、魅力ある圏域の形成をめざします。ちょっと、となりのまちへ足をのばしてみませんか？

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

### 加須市

- 加須市民運動公園、鎮守前公園  
☎0480-62-6123(窓口：加須市民体育館)
- 花崎愛宕公園  
☎0480-66-3981(窓口：花崎コミュニティセンター)
- 騎西中央公園、古宮公園、ふるさと広場、田ヶ谷サン・スポーツランド ☎0480-73-7610(窓口：騎西総合体育館「ふじアリーナ」)
- 渡良瀬総合グラウンド、柏戸スポーツ公園  
☎0280-62-1590(窓口：北川辺体育館)
- 大利根運動公園、大利根西部公園、豊野台公園、皇子沼公園 ☎0480-72-5488(窓口：大利根文化体育館)
- 加須市民体育館 ☎0480-62-6123
- 騎西総合体育館「ふじアリーナ」 ☎0480-73-7610
- 北川辺体育館 ☎0280-62-1590
- 大利根文化体育館 ☎0480-72-5488
- 北川辺老人福祉センター ☎0280-62-1811
- 北川辺スポーツ遊学館 ☎0280-61-2299
- 北川辺公民館 ☎0280-61-2444  
(窓口：北川辺文化・学習センター「みのり」)



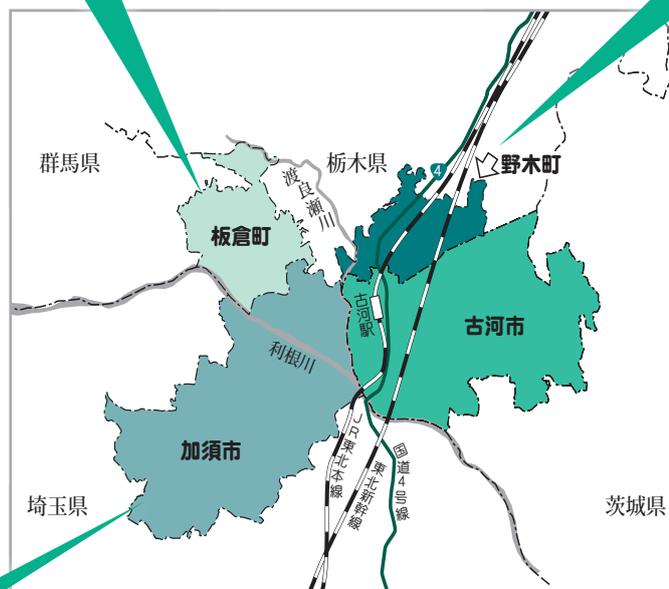
◀図書館、多目的ホール、文化活動の3つの機能を持つ北川辺文化・学習センター「みのり」

## 板倉町

- 渡良瀬運動場 ☎0276-82-0858(窓口：海洋センター内スポーツ振興係)
- B&G海洋センター ☎0276-82-0858
- 中央公民館 ☎0276-82-2435



▲スポーツの拠点となる  
B&G 海洋センター



- 北川辺ライスパーク ☎0280-62-4349
- 北川辺郷土資料館  
☎0480-62-1223(窓口：生涯学習課)
- 加須文化・学習センター「パストラルかぞ」  
☎0480-62-1221
- 騎西文化・学習センター「キャッスルきさい」  
☎0480-73-3101
- 北川辺文化・学習センター「みのり」☎0280-61-2444
- 大利根文化・学習センター「アスタホール」  
☎0480-72-1023
- 加須図書館 ☎0480-61-8200
- 騎西図書館 ☎0480-73-3178
- 北川辺図書館 ☎0280-62-4400
- 童謡のふる里おおとね図書館「ノイエ」☎0480-78-2211

## 野木町

- 総合運動公園、体育センター  
☎0280-57-4187(窓口：生涯学習課)
- 老人福祉センター「ホープ館」☎0280-57-3100
- 公民館 ☎0280-57-4177
- 文化会館「エニスホール」☎0280-57-2000
- 健康センター「ゆ〜らんど」☎0280-57-0755
- 図書館 ☎0280-57-2811



▲優れた音響効果のエニスホール



### わんぱいと解説

#### ●関東どまんなかサミット会議とは？

昭和63年、旧古河市・旧総和町・旧北川辺町・野木町の4自治体がまちづくりの情報交換や共通の課題などを検討し、地域活性化をめざして「三国サミット会議」を発足しました。

その後、各市町の合併等を経て、平成27年1月28日、群馬県板倉町の加入により「関東どまんなかサミット会議」に改称。会議名は古河市・加須市・野木町・板倉町の4自治体が関東地方のほぼ中央に位置することから名付けられました。

#### ●どのようにしたら利用できますか？

利用できる施設は、加須市の北川辺文化・学習センター「みのり」など30施設、野木町の文化会館「エニスホール」など7施設、板倉町のB&G海洋センターなど3施設が対象です。施設ごとに申込方法が異なりますので、詳しくは各施設または窓口にお問い合わせください。

## 総和高校34年の歴史に幕 決意を胸に 最後の卒業生が旅立ち

3月1日、平成27年度から県立古河中等教育学校へ完全移行する県立総和高等学校の最後の卒業式が行われました。最後の卒業生は114人。式では、卒業生を代表して生徒会長の岡田優佳さんが「総和高校は閉校となるが、私たちの母校に変わりはない。新しい道へ進むスタートラインに立ったところ。中等教育学校の後輩たちには、引き継いできた伝統に新しい息吹を吹き込んでほしい」と答辞を述べました。

昭和56(1981)年4月の開校から34年。全日制普通科の卒業生8,710人が巣立ち、歴史に幕を閉じました。



◀保護者や教職員、中等教育学校の生徒が見守るなか行われた最後の卒業式



▲卒業式後に行われた継承式。卒業生から中等教育学校の生徒に校旗が手渡されました

### 市民の安全を守ります

## 古河市消防春季点検式

2月22日、中央運動公園で古河市消防春季点検式が行われました。消防団員426人が一堂に会し、服装や姿勢などの通常点検と消防ポンプ自動車の機械器具点検を実施。会場には、規律正しい消防団員の聡明な声が響きました。

また、古河一番組の「はしご乗り、まとい振り」や、幼年消防隊による「幼年消防隊防火の誓い」などが披露され、観衆からは拍手が湧き起こっていました。



▲一斉放水での機敏な動きは日頃の訓練の賜物

### 姉妹都市 だより

### 真室川町&古河市 絆を深めた

## 少年少女の集い

2月13日～15日、市内小学5・6年生32人が山形県真室川町を訪問。雪の真室川町を会場に「少年少女の集い」が行われました。

雪上での綱引きやスノーモービル乗車体験、スノーキャンドル作りなど、雪国でしか味わえない貴重な体験で友情を深めた子どもたち。「とても楽しかったよ」「また必ず会おうね」と、3日間の思い出を胸に再会を誓いました。



▲グループごとに作ったスノーキャンドルに点火

# 注目! まちの話題

………  
未来へ羽ばたく  
たくさんさんの思い出を胸に  
………

うららかな日差しに春めく3月。市内9中学校で11日に、市内23小学校で20日に卒業式が行われました。小学校1,254人、中学校1,243人の卒業生が在校生、恩師、保護者に見送られ、輝く未来への第一歩を踏み出しました。

総和中学校からは187人の生徒が巣立ちました。恩師や保護者から励ましの言葉を、在校生からは感謝の言葉を受け取り涙ぐむ卒業生も。後輩たちへ母校の伝統を託し、在校生の合唱に見守られながら、思い出の詰まった校舎を後にしました。

4月から始まる新しい生活。希望を胸に未来へ突き進む皆さんを応援しています。



▲在校生の贈る言葉を受け、答辞を述べる卒業生代表(総和中)

## 被災地へ祈りを込め キャンドルナイト



▲人の絆の大切さを、次の世代につなぎます

3月11日、東日本大震災の犠牲者の追悼と復興支援の願いを込め「キャンドルナイトIN古河」が、三和健康ふれあいスポーツセンター噴水前広場で行われました。この催しは「大好き いばらき 県民会議」が平成24年度から県内各地で開催しているもので、今回古河市ネットワーク等連絡協議会が主催し、三和地区のコミュニティ団体が協力。約4,000個のキャンドルに火を灯すと「3.11」「絆」などの文字が次々と浮かび上がり、参加者全員で犠牲者へ黙とうをささげました。

## プロの味、家庭でも ～メンズcafe講座～



▲湯を注ぐスピードと蒸らし時間がポイント

男女共同参画推進事業として「メンズcafe講座」が3月7日、はなももプラザ(地域交流センター)を会場に開かれました。講師は市内カフェオーナーの須藤高揚さん。男性やご夫婦など20人が、ペーパードリップコーヒーの入れ方やチーズケーキ作りに挑戦しました。参加者はコーヒーの粉の量や湯の注ぎ方など熱心に質問。自分で入れたコーヒーを口にすると「おいしい」と驚きの声。「プロの技を学ぶことができよかった」「さっそく家族に飲ませたい」という声も聞かれました。

## ふる里日記

古河で育った  
大野さんの  
ふる里の思い出

福島県郡山市にある、日本テレビ系列の福島中央テレビでアナウンサーをしています、大野智子です。小学2年生の時に古河四小に転入して以来、古河二中、古河三高と、古河で育ちました。実家は今も古河市にあります。

私は、女子だけのサッカースポーツ少年団の創立メンバーとして、小学4年生の時にサッカーを始めました。学年ごとに女子チームが組めるほどに選手も多く、市内の小学校では女子リーグが行われていました。夏休みも毎日のように練習があり、真っ黒に日焼けした小学校時代でした。中学進学と同時に一度は辞めましたが、テレビ局に就職してから、サッカー中継のリポートなど、仕事に役立つと思い再開しました。それが、選手として福島県女子選抜チームに選出させていただくほど、のめり込んでしまいました。現在はフットサ



▲古河三高時代の親友たちと(後列左が大野さん)

ルが中心になりましたが、福島県女子選抜選手として全国の舞台に立つことができました。また、福島県サッカー協会特任理事として、女子サッカー普及のための活動もしています。仕事でも、全日本少年サッカー、高校サッカー選手権の中継など、サッカーの知識を活かせる場面は多く、古河で出会ったサッカーは、私の人生の大きな部分を占めています。

アナウンサーを目指したのは、今から20年以上前になりますが、「古河の桃むすめ」に選んでいただいたことが、きっかけでした。古河総合公園には、小さな頃からよく遊びに



福島中央テレビ アナウンサー  
おおのともこ  
大野智子さん

行っていました。鮮やかなピンクの花桃の時期は特に大好きで、「桃むすめ」としてその美しさをたくさんの人に伝えたいと、活動させていただきました。その中で、人前で表現すること、それが伝わったときの喜びが感じられ、その後の私の人生の選択に影響を与えてくれました。また、去年亡くなった祖父が、私が「桃むすめ」に選ばれたことをとても喜んでいたので、幸せな思い出です。今でも私を支えてくれる大切な親友たちと出会ったのも、古河での高校時代でした。私の原点のすべてがある古河は、たいせつな大切なふるさとです。

## 図書館のオススメ

### ◇一般書

#### ・月に捧ぐは清き酒

小前 亮 著

尾子の猛将として知られた山中鹿介の子息、山中(鴻池)新六。父の死後、商人の道を歩み始めた彼は清酒の開発に成功。醸造、輸送、販売を一手に引き受け、莫大な富を築き……。破天荒な生涯を描く。

出版社…文藝春秋  
分類…Fコ



### ◇児童書

#### ・なんでもあらう

鎌田 歩 作

けんちゃんは、自転車をあらってくれたおじさんといっしょに、道路や電車がどのようにあらわれているのかを見学します。町の中には、あらうものがいっぱい。次は、どんなものをあらう所を見に行くのかな？

出版社…福音館書店  
分類…Eナ

#### ・希望の海へ

マイケル・モーパーゴ 作

イギリスの戦争孤児アーサーはたったひとりでオーストラリアに送られた。過酷な現実を生きる中にも、散りばめられる愛や幸せ……。『児童移民』と言われる人々の実話をもとにした感動の物語。

出版社…評論社  
分類…933キ



#### ・印章の道

小田 玉瑛 著

四大文明の発生地の一つであるメソポタミアから、各国々やその民族を経て変化しながら伝播した印章。その包蔵する歴史的意義は実に面白い。さまざまな国や文明の遺跡と出土品の調

古河図書館

## 注目 企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

「常に向上心を持って臨んでいます」

日本電化工機株式会社勤務 小久保 恭宏さん

もともと機械いじりが好きという小久保さん。専門学校で建築設備を学び、現在の会社に入社し今年で4年目。主に空調機器などの製造を手掛けています。

顧客の発注に合わせて製品を作るため、同じ製品はありません。図面に合わせて配線や組み立てをしていきますが、ベテランの先輩のようにスムーズにいかないことも。

それでも「好きな仕事なので楽しく、時間が経つのが早い」と語ります。空調機器の世界で働き始めたきっかけは、専門学校で出会った講師の先生。「空調機器のマイスター」としてあらゆる質問に的確に答える専門性の高さに感銘を受けたとのこと。ユーモアあふれる人柄で、小久保さんよりも50歳も年上ですが、今でもときどき一緒に飲みに行くそうです。

今後は、知識と経験を積み重ねて「語るだけではなく、自分の手で仕事ができる人になりたい」と話します。「自分の中で『ここまででいい』と決めてしまうのではなく、『生きている間は常に勉強』と考えて、周囲の人から学ぶ姿勢と向上心を忘れずにいたい」。力強い言葉と生き生きとした表情が印象的でした。

### ■プロフィール

周囲の人を笑わせることが大好き。趣味のスノーボードは昨冬だけでも5、6回は行きました。31歳・上和田在住。



# 古河文化見聞録

## 日光社参と日光東街道

### 今年(2015)は徳川家康没後400年

平成27(2015)年は、徳川家康没後400年(400回忌)の節目にあたります。

家康ゆかりの地である静岡県静岡市・浜松市、愛知県岡崎市などでは、さまざまな「徳川家康公顕彰四百年記念事業」が行われています。

ところで、家康を祀る東照宮といえば、やはり、極彩色の彫刻群が参詣者を魅了する陽明門が有名な日光東照宮を思い浮かべますね。

しかし、日光以外にも各地に東照宮があることをご存じですか？ 家康が最初に祀られた久能山東照宮(静岡県静岡市)をはじめ、古河市から比較的近い距離ですと、上野東照宮(東京都台東区上野公園)、世良田東照宮(群馬県太田市)、仙波東照宮(埼玉県川越市)などが挙げられます。

### 徳川将軍の日光社参と古河

江戸時代、徳川将軍や大御所(隠居した前将軍)、西の丸大納言(将軍の継嗣)が家康の命日にあわせて日光東照宮へ参詣することを日光社参といい、合計19回実施されました。

日光社参は宗教的行事であると同時に、将軍家の権威を広く知らしめるという政治的背景があったため、供奉する大名・旗本や動員される人馬の数は膨大でした。計画・準備の段階を含めると、莫大な費用支出を伴うため、4代将軍家綱までに16回行われましたが、それ以降、幕府財政が厳しくなると実施の頻度は低下していきました。

将軍の旅程は、江戸城を発駕すると日光御成街道を進み、武蔵国岩槻城(埼玉県さいた

ま市)で宿泊、2日目は日光道中を進み下総国古河城(茨城県古河市)で宿泊、3日目は下野国宇都宮城(栃木県宇都宮市)で宿泊し、4日目で日光山に到着する、3泊4日の旅でした。

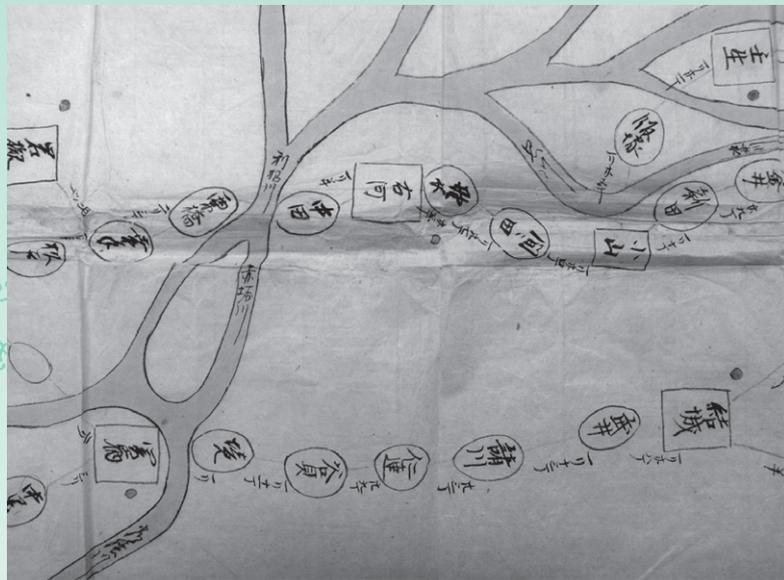
また、将軍とは別ルートで日光登山(往路)・下山(復路)する大名・旗本もいましたが、彼らが利用したのが、現在の三和地区を南北に縦断する日光東街道(現：県道17号結城野田線)です。三和地区では、谷貝・仁連・諸川の3町に宿場町が置かれていました。

日光社参に伴う休息・昼食・宿泊・人馬継立を古河市域でみた場合、古河地区の日光道中古河宿、三和地区の日光東街道谷貝・仁連・諸川町が重要な役割を果たしていたのです。

### 日光東街道と谷貝・仁連・諸川町

日光東街道は、正式名称を「関宿通多功道」といい、水戸街道の小金上町新田の追分を起点とし、北原新田の追分で日光道中に合流する宿場数10宿、総距離20里34町(約82km)の脇街道です。三和地区では、谷貝町・仁連町・諸川町に宿場機能である本陣・問屋場が設置されていました。谷貝町の本陣・問屋は名主初見家が、仁連町の本陣・問屋は名主鈴木家が、諸川町の本陣は名主中村家、脇本陣は小林家、問屋は両家が交代でつとめました。

そのため、仁連町鈴木家、諸川町中村家・小林家には、享保13(1728)年8代将軍吉宗・安永5(1776)年10代将軍家治・天保14(1843)年12代将軍家慶の日光社参に関する古文書・古記録が多く遺されています。



▲日光道中古河宿、日光東街道谷貝・仁連・諸川町部分  
 (「日光御社参三海道絵図」諸川中村家文書より)

### 植村出羽守の宿割と関札

人馬を宿場間でリレー方式に継ぎ送ることを人馬継立といいます。仁連町と諸川町は合宿扱い(2宿で1宿分の継立を行う)で、継立に特別なルールがあり、登山時には仁連町、下山時には諸川町がそれぞれ分担して行いました。

天保14(1843)年の社参では、登山時に日光東街道仁連町で人馬継立を行った大名は12家、高家1家でした。下山時は継立ルールに従うと通行する大名家は、諸川町で継立し、

仁連町を通過しますが、大和国高取藩主植村出羽守家教のみ下山途中の4月21日に仁連町で宿泊しました。このときの宿割に関する資料によると、割り当てられた宿所は、出羽守の御座所となった本陣と、家臣の下宿とを合わせて27軒、総勢548人もの大人数の宿泊でした。宿泊人数の多い順に、本陣58人、吉左衛門43人、本陣店39人、妙巖寺36人となっています。

ところで、ダブルブッキングを避け、本陣に誰が宿泊しているのか知らせるため、宿泊者名を記載し、門前に掲げた木札を関札と呼びます。仁連町本陣には「植村出羽守泊」と墨書された関札も遺されています。



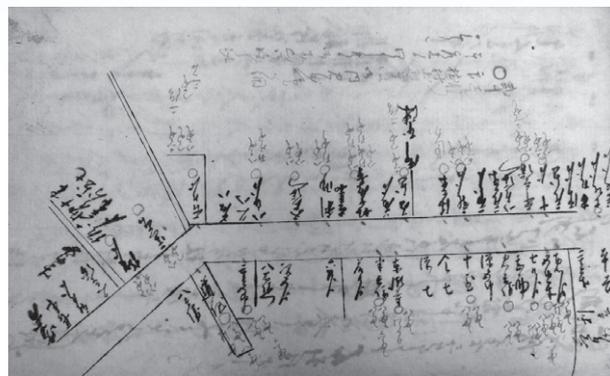
▲植村出羽守関札(仁連鈴木家資料より)

### 仁連町本陣善右衛門の御目見と心付け

仁連町本陣鈴木善右衛門は、このとき、植村出羽守より御目見(拝謁)を命じられています。記録には「御目見被仰付候、敷居際迄罷出、御家老御取次、五百疋頂戴、外二式百疋問屋場」とあり、本陣の書院敷居際まで罷り出て、家老の取り次ぎで金500疋を頂戴したことがわかります。今で言うところの、チップですね。また、別に仁連町の問屋場へも200疋下されましたが、その目録も現存しています。

植村出羽守の宿泊を終えた仁連町は、前年4月より本格的に始動していた社参に関する仕事にひと段落しました。しかし、その後も処理すべき事案が山積みしており、すべてが完了したのは天保14年6月5日でした。

三和資料館学芸員 白石謙次



▲植村出羽守宿割部分(「日光御社参御用留」仁連鈴木家文書より)

女性の心と体に大きな変化をもたらす妊娠期間中は、ふだんより一層健康に気をつける必要があります。

特に気がかりなことがなくても、定期的に妊婦健康診査を受けて、お母さんとおなかの赤ちゃんの健康をチェックすることが大切です。

### 妊娠届

妊娠の可能性があるときは、早めに医療機関を受診しましょう。妊娠と診断されたら市役所の窓口で妊娠の届出を行い、「母子健康手帳」と「妊婦健康診査受診票」の交付を受けましょう。マタニティスクールや両親学級など、妊娠期からの各種母子保健サービスの情報提供も行っています。

#### 【母子健康手帳の交付窓口】

- ・古河福祉の森会館(健康づくり課)
- ・古河庁舎(国保年金課)
- ・総和庁舎(国保年金窓口室)
- ・三和庁舎(国保年金窓口室)

### 母子健康手帳

妊娠期からお子さんが小学校に入学するまでの母子の健康記録手帳です。妊婦健診や



乳幼児健診、予防接種の接種状況等も記録されます。

また、妊娠中のお母さんの健康やお子さんの健やかな成長を応援するために役立つ情報が、わかりやすく記載されています。

妊娠期間中や出産、誕生日など、成長を感じる折々の気持ちを記録できる欄もあります。お母さんとお子さんの宝物になりますので、大切に保管しましょう。

### 妊婦健康診査

妊娠中は、普段より一層健康に気をつけなければなりません。お母さんの健康状態やおなかの赤ちゃんの発育状態を定期的に確認し、無事に出産を迎えるためにも、妊婦健診をきちんと受けましょう。妊婦健診では、おなかの赤ちゃんの成長の確認や、お母さんの身体計測、血液・血圧・尿などの検査を行います。

市では、妊婦健診の費用負担軽減を図るため「妊婦健康診査受診票」を交付しています。厚生労働省が標準的な健診回数として定める14回分を、公費で助成(上限額あり)しています。なお、里帰り出産など県外の医療機関等で受診票が使えない場合は、窓口でお支払いいただいた後に、指定の口座に所定の金額を振り込みさせていただき償還払いの制度をご利用ください。

### 産前・産後 サポート事業

妊娠中から産後にかけて、心身の負担や育児不安が生じやすい時期に、安心して妊娠・出産・育児に取り組めるよう、妊娠期から継続してサポートを行っています。

妊娠の届出を行った人には、母子保健コーディネーターや保健師等が連絡させていただくことがあります。また、妊娠や出産、育児についての相談は、健康づくり課へ気軽にご連絡ください。

### ご存じですか？ マタニティマーク

皆さんは「マタニティマーク」を見かけたことはありますか？ これは妊婦または出産後間もない産婦であることを周囲の人に知ってもらい、周囲の人が配慮しやすくするためのマークです。



▲マタニティマークは妊産婦にやさしい環境づくりを推進しています

健康づくり課

# 憩いのパークの魅力

## 新緑に囲まれた空間 研修センター「平成館」を ご利用ください

ネーブルパークでは木々もすっかり芽吹き、まもなく新緑の葉が茂る季節となります。

今回は、その中にたずむ研修センター「平成館」の宿泊施設と研修施設を紹介いたします。

平成館はお一人様から、ご家族連れ、合宿などの大人数までさまざまなお客様のご利用ができます。和室が6部屋、洋室が10部屋、最大94人の宿泊が可能です。部屋には、冷蔵庫、バスタオル、歯ブラシなども用意してあります。そして、大浴場で1日の疲れを癒した後は、館内にある緑に囲まれた解放感あるレストラン「木立」で、四季折々のボリューム満点のお食事をお召し上がりください。

研修施設は、講義室(1階・64席)、研修室(2階・72席)の2会場を備えてあります。



▲小会議から各種研修まで、目的にあわせて利用できます(写真は講義室)▶ホテルのようなロビー。「くつろぎ」と「やすらぎ」の空間です

講義室・研修室ともに、用途に合わせOA機器を用意。マイクやスクリーン、プロジェクター等の備品は無料で利用できます。研修後は食事、さらに宿泊もできますので、ぜひご利用ください。

宿泊施設および研修施設の予約は下記へ問い合わせください。平成館スタッフ一同、皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

### 【宿泊料金】

大人1泊4,000円(素泊まり)～  
※食事は別途要予約。  
※小中学生・幼児も承ります。

### 【研修施設利用料】

3,150円～(午前・午後・夜間  
区分があります。要確認)

【問】ネーブルパーク研修センター「平成館」

☎91-2080



## 表紙写真



春は、出会いと別れの季節。写真は3月11日、総和中学校で行われた卒業式で撮影した一枚です。式典終了後、友人や恩師らと記念撮影をしたり、3年間の思い出を語りあったりして、別れを惜しむ光景が見られました。

また、この日は東日本大震災から4年を迎え、日本各地で追悼の祈りに包まれた日でもありました。

輝く未来への第一歩を踏み出した卒業生の皆さんには、人と人との絆を大切に、震災の事実と平和を望む気持ちを後世に伝えていってほしいと願っています。

## 表紙の題字について

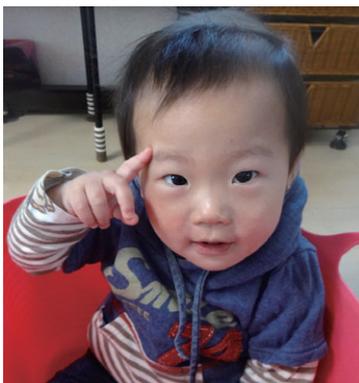
「古河」の書体は、篆刻に用いる古い文字のひとつで、小篆といえます。中国全土を統一(紀元前221年)した秦の始皇帝が公式に採用した書体です。

### 古河市データ

## 人口

(3月1日現在) 住民基本台帳から  
総人口… 145,031人 (- 8)  
男……………72,910人 (+ 24)  
女……………72,121人 (- 32)  
世帯数…58,300世帯 (+ 69)  
( ) 内は前月比

# わが家のアイドル



須永 <sup>はると</sup>晴翔くん (1歳3カ月・桜町)

4つ上の兄・翔也のことが大好きな晴翔。パパとママは2人の笑い声と笑顔が大好き♡最近は、お話もたくさんしているね。お出掛けすると、近くにいる人に手を振って愛嬌を振りまいています。いろいろな人から愛される人になってね! (父:鉄也 母:まゆみ)

## 今月の料理

### カレー酢漬けレンコン

<高血圧予防食>



- ①レンコン200gは5mm厚さの半月切りにし、水にさらしてアクを抜き、さっと下茹でする(約3分)。
- ②鍋に水100cc、酢150cc、砂糖大さじ1、塩少々、カレー粉小さじ2、小口切りにした赤唐辛子1本を合わせて煮立てる。火からおろして①のレンコンを入れ、10分ほど漬ける。
- ③保存容器に汁ごと移して粗熱をとって、冷蔵庫で十分に冷ます。
- ④器に盛り付け、漬け汁を適量かける。

<4人分>

(1人分)

エネルギー=56kcal  
タンパク質=1.2g  
脂質=0.2g  
カルシウム=17mg  
食塩相当量=0.3g



(食生活改善推進協議会)



日々奮闘!

## 子育てアドバイス

### からだをたくさん動かそう



戸外でダイナミックに遊んだり、お散歩に出かけたりするのに気持ちのよい季節になりました。子どもたちは体を動かすことが大好きです。いろいろな遊びを楽しんでもみませんか?

●子どもたちの成長にとって、運動遊びはとても重要です。運動遊びは、からだを動かすこと自体が楽しみであり「体格の向上や身体的発達に役立つ」といわれています。

脳や神経系が急激に発達する乳幼児期の運動遊びは「生きる力」を支える「健やかな体」「豊かな心」を育む基盤となります。

すべり台やブランコ、鉄棒など、全身を使って遊ぶことにより「体のバランスを取る動き」を、走る・跳ぶ・登る・下りるにより「体を移動する動き」をそれぞれ経験できます。



#### 第四保育所

いろいろな運動遊びを楽しむことで、たくさんの経験をさせてあげたいですね。

●散歩に出掛けてみよう  
家の中でゲームなどで遊ぶことが多くなってしまうか? 天気の良い日には、親子で散歩に出掛けてみてはいかがでしょう。歩くことは子どもたちの発達にとって欠かせない運動です。

日ごろ、車などで通りすぎてしまう景色も、歩いてみると違った景色に映ります。子どもたちの目で見たいいろいろな発見を、親子で楽しんでみてください。

外へ一歩出てみると、新しい発見が盛りだくさんですよ。

平成27年4月1日発行

発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所  
編集/秘書広報課 ●ホームページ/ <http://www.city.furukawa.lg.jp/> ☎0280923111